

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和2年度第3回岩手県政策評価専門委員会

2 開催した日時

令和3年2月10日（水） 10:50～11:30

3 開催場所

盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎 8階 大会議室

4 出席委員

吉野英岐専門委員長、斉藤徹史副専門委員長、市島宗典委員、工藤昌代委員、西田奈保子委員

（6名中5名出席）

5 議事等

【説明事項】

（1）令和3年度における政策評価及び事務事業評価の実施について

事務局から資料1に基づき説明があった。

委員からの主な質疑等は特になし。

（2）令和3年度政策評価専門委員会の開催予定

事務局から資料2に基づき説明があった。

委員からの主な質疑等は次のとおり。

【主な質疑等】

- 新型コロナウイルス感染症の影響等に関わらず、リモート会議を継続して検討していく方向かどうか。今後、どのように考えていくのか。

（回答）委員の皆様の御意見を伺いながら、開催方法について、その都度、検討することとしたい。見込みとしては、参集していただく方と Web で参加いただく方を融合した形で基本的に進めていく形になると考えている。

（3）その他

次回（令和3年度第1回）の政策評価専門委員会は、非公開で行うことを決定した。

事務局から資料3に基づき説明があった。

委員からの質疑等は次のとおり。

【主な質疑等】

(意見) 今年度、イベントをオンラインで実施した事例であるが、経済効果などには課題があったが、PR先（県外、女性、若者など）が明確に決まっていれば、オンラインのほうが、実際に集まるよりも参加のしやすさがあると感じた。

(意見) オンラインを活用することによって、全国各地で開催されていたシンポジウムなど、これまで行けなかったものに参加できるようになったが、参加人数に上限を設けているものもあつたりするため、指標の目標値を設定する際には、留意したほうがよい。

(意見) 対面で継続しているタイプの研修会のようなものは、一回の対象者数は少なくして、実施回数を当初想定している回数の倍にするという対応があつた。この場合は、参加人数の指標だとほぼ変わらないが、実施回数を指標とすると、倍になることがあるため、評価結果は変わってくる可能性がある。

(意見) 小規模市町村が開催する高齢者が参加する会議は、対面実施も困難であり、Web環境等もないため、今年度開催しないと判断をしたものがあつた。想定する参加者によって、この事例のように会議が実施できない場合もあるため、留意する必要がある

【会議資料】

資料No.1 令和3年度における政策評価及び事務事業評価の実施について

資料No.2 令和3年度政策評価専門委員会の開催予定

資料No.3 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた、いわて県民計画(2019～2028)「第1期アクションプラン 政策推進プラン」と政策評価の取扱いについて

※ 会議資料及び会議録については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

6 傍聴人数

一般 0名

報道 0名

7 問い合わせ先

盛岡市内丸10番1号

岩手県政策企画部政策企画課評価担当 TEL019-629-5181 FAX019-629-6229

8 アドレス

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/hyouka/senmon/1031423/index.html>

9 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せください。今後の委員会での審議の参考とさせていただきます。